

第 8 1 回 穴 粟 市 議 会 定 例 会 議 録 ( 第 5 号 )

招 集 年 月 日 平 成 3 0 年 9 月 2 5 日 ( 火 曜 日 )

招 集 の 場 所 穴 粟 市 役 所 議 場

開 議 9 月 2 5 日 午 前 9 時 3 0 分 宣 告 ( 第 5 日 )

議 事 日 程

日 程 第 1 第 101号 議 案 平 成 30年 度 穴 粟 市 一 般 会 計 補 正 予 算 ( 第 4 号 )

本 日 の 会 議 に 付 し た 事 件

日 程 第 1 第 101号 議 案 平 成 30年 度 穴 粟 市 一 般 会 計 補 正 予 算 ( 第 4 号 )

応 招 議 員 ( 1 6 名 )

出 席 議 員 ( 1 6 名 )

1 番 津 田 晃 伸 議 員	2 番 宮 元 裕 祐 議 員
3 番 山 下 由 美 議 員	4 番 東 豊 俊 議 員
5 番 今 井 和 夫 議 員	6 番 大 久 保 陽 一 議 員
7 番 田 中 孝 幸 議 員	8 番 浅 田 雅 昭 議 員
9 番 田 中 一 郎 議 員	1 0 番 神 吉 正 男 議 員
1 1 番 飯 田 吉 則 議 員	1 2 番 大 畑 利 明 議 員
1 3 番 林 克 治 議 員	1 4 番 榎 橋 美 恵 子 議 員
1 5 番 西 本 諭 議 員	1 6 番 実 友 勉 議 員

欠 席 議 員 な し

職 務 の た め に 議 場 に 出 席 し た 者 の 職 氏 名

事 務 局 長 宮 崎 一 也 君	書 記 小 谷 慎 一 君
書 記 岸 元 秀 高 君	書 記 小 椋 沙 織 君

地 方 自 治 法 第 1 2 1 条 に よ り 説 明 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名

市	長	福	元	晶	三	君	副	市	長	中	村	司	君														
教	育	長	西	岡	章	寿	企	画	総	務	部	長	坂	根	雅	彦	君										
まち	づ	り	推	進	部	長	富	田	健	次	君	市	民	生	活	部	長	平	瀬	忠	信	君					
健	康	福	祉	部	長	世	良		智	君	産	業	部	長	名	畑	浩	一	君								
建	設	部	長	花	井	一	郎	君	一	宮	市	民	局	長	上	長	正	典	君								
波	賀	市	民	局	長	坂	口	知	巳	君	千	種	市	民	局	長	津	村	裕	二	君						
会	計	管	理	者	椴	谷	米	男	君	総	合	病	院	事	務	部	長	志	水	史	郎	君					
教	育	委	員	会	教	育	部	長	前	田	正	人	君	農	業	委	員	会	事	務	局	長	西	村	吉	一	君

( 午前 9 時 3 0 分 開議 )

議長 ( 実友 勉君 ) 皆様、おはようございます。

これから、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付しておりますとおりであります。

日程に先立ち諸般の報告をいたします。

報告 1、地方自治法第 235 条の 2 第 3 項の規定により、例月出納検査の報告書が監査委員から議長宛てに提出されました。その写しをお手元に配付しておりますので、御高覧願います。

報告 2、本日市長から議案 1 件が提出されております。

これで報告を終わります。

それでは、日程に入ります。

#### 日程第 1 第 1 0 1 号議案

議長 ( 実友 勉君 ) 日程第 1、第 101 号議案、平成 30 年度宍粟市一般会計補正予算 ( 第 4 号 ) を議題とします。

上程議案に対する提案理由の説明を求めます。

福元市長。

市長 ( 福元晶三君 ) 皆さん、おはようございます。よろしく願いいたします。

それでは、第 101 号議案、平成 30 年度宍粟市一般会計補正予算 ( 第 4 号 ) につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

この補正予算につきましては、平成 30 年 7 月豪雨災害の早期復旧を図るため、災害復旧費の補正を主として行うものであり、歳入歳出をそれぞれ 7 億 342 万 9,000 円増額し、補正後の総額を 256 億 1,870 万 8,000 円とするものであります。

歳出につきましては、民生費では、災害救助費において、災害廃棄物の量が当初の想定を超える見込みとなったため、収集運搬等の費用を増額することとしています。

災害復旧費では、早期復旧を図るため、農業用施設、公共土木施設などの本復旧に要する費用のうち、年内の発注・着手が可能なものを中心として計上しており、農地・農業用施設で 9,666 万 3,000 円、公共土木施設で 5 億 8,050 万円、その他公共施設で 1,727 万 6,000 円となっております。

歳入につきましては、災害に係る各種国県補助金に加えて、特別交付税を見込んでいるほか、災害復旧事業債を活用することとしております。

さらに、必要となる財源につきましては、財政調整基金の繰り入れにより対応す

ることとしています。

なお、公共土木施設において、国庫補助を受けて行う災害復旧工事費につきましては、年度内に必要な工期の確保が困難となる見込みであるため、繰越明許費を計上しております。

以上、補正予算につきまして、概要の御説明を申し上げます。

諸事情御賢察の上、何とぞ原案に御賛同賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議長（実友 勉君） 説明は終わりました。

続いて質疑であります。通告がありませんので、質疑を終了したいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（実友 勉君） 御異議なしと認めます。

これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております第101号議案は、予算決算常任委員会に付託します。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

次の本会議は、10月5日午前9時30分から開会いたします。

本日は、これで散会いたします。

御苦労さまでした。

（午前 9時34分 散会）